



平成28年 6 月16日

各 位

会 社 名 サイオテクノロジー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 喜多 伸夫  
(コード番号3744 東証第二部)  
問合せ先 常務執行役員 小林 徳太郎  
電 話 03-6401-5111

(訂正)「平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年10月29日に開示いたしました「平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

### 1. 訂正の内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(平成28年6月16日)付「平成28年12月期第1四半期決算短信の提出及び過年度の決算短信等の訂正、過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出、並びに、過年度における剰余金の配当及び自己株式の取得に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

### 2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



## 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月29日

上場会社名 サイオテクノロジー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3744 URL <http://www.sios.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	5,393	10.9	45	△71.9	49	△70.7	△20	—
25年12月期第3四半期	4,864	10.1	160	109.4	169	130.4	54	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 △3百万円( —%) 25年12月期第3四半期 122百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	△2.38	—
25年12月期第3四半期	6.27	4.21

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	3,543	1,618	45.3
25年12月期	3,194	1,656	51.7

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 1,605百万円 25年12月期 1,651百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	9.7	100	△55.9	100	△58.1	30	△69.8	3.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	8,874,400株	25年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	80,500株	25年12月期	85,700株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	8,791,205株	25年12月期3Q	8,714,282株

(注) 当社は平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

＜当第3四半期連結累計期間の概況＞

当社グループが属するIT産業は、クラウドコンピューティング<sup>(※1)</sup>（以下、「クラウド」）やスマートフォン、タブレット端末の普及、また、通信技術の進化によるモバイルインターネット環境の高速化大容量化により、今までに存在しなかった革新的なビジネスが数多く生まれており、急速に変化しています。

このような状況のもと、当社グループは、当期を新たな成長戦略の起点的年と位置付け、「新規分野の拡大」「製品力強化のための研究開発」「競争力強化に向けた人材投資」に取り組んでいます。

当第3四半期連結累計期間における売上高は5,393百万円と前年同期比で10.9%増と二桁の増収となりました。利益面におきましては、引き続き、米国子会社であるSIOS Technology Corp. 及びGlabio, Inc. における自社製品・サービス開発のための先行投資、並びに人員採用を積極的に進めたこと等により、販売費及び一般管理費は2,059百万円（前年同期比16.5%増）となり、営業利益は45百万円（同71.9%減）、経常利益は49百万円（同70.7%減）、四半期純損失は法人税等の計上により20百万円（前年同期は四半期純利益54百万円）となりました。また、当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）は92百万円（前年同期比56.1%減）となりました。

各セグメントの業績は、次の通りの結果となりました。

（オープンシステム基盤事業）

「Red Hat Enterprise Linux」<sup>(※2)</sup>は営業・マーケティングの強化により販売は堅調に推移しました。自社製品の「LifeKeeper」<sup>(※3)</sup>は前期に比べ大規模案件の減少等により横ばいとなりました。また、OSS<sup>(※4)</sup>のサポートサービスや、OSS関連商品の販売は概ね順調に推移しました。これらにより、売上高は3,646百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

一方、利益面では、前述のとおり新製品開発のための先行投資や、「Red Hat Enterprise Linux」の競争激化による利益率の低下、技術及び営業社員の積極採用等により、セグメント損失は35百万円（前年同期はセグメント利益193百万円）となりました。

（Webアプリケーション事業）

MFP向けソフトウェア製品<sup>(※5)</sup>の売上が大幅に伸長し、売上高は1,746百万円（前年同期比28.3%増）と増収となりました。また、Google Apps<sup>TM</sup>の機能拡張サービス「Gluegentシリーズ」<sup>(※6)</sup>をはじめとするクラウド分野の製品・サービスの売上は、堅調に推移しました。新たな事業分野であるビッグデータソリューション<sup>(※7)</sup>の売上は想定を上回りました。

一方、利益面では、新サービスのための研究開発や人員採用を積極的に行ったことで販売費及び一般管理費が増加しましたが、売上の伸長による売上総利益の増加がこれらを吸収し、セグメント利益は81百万円（前年同期はセグメント損失33百万円）と黒字化しました。

- (\*1) クラウドコンピューティング  
コンピュータ処理をインターネット経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。
- (\*2) Red Hat Enterprise Linux)  
オープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。
- (\*3) LifeKeeper  
米国子会社SIOS Technology Corp. の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。
- (\*4) OSS（オープンソースソフトウェアの略）  
ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
- (\*5) MFP向けソフトウェア製品  
プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multi Function Peripheralの略)という。MFPを効率的に利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」等の開発・販売・保守。
- (\*6) Gluegentシリーズ  
子会社グルージェントのサービス。社内のワークフローをクラウド化する「Gluegent Flow」をはじめ、Google Calenderにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Apps グループスケジューラー」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。
- (\*7) ビッグデータソリューション  
大規模データを従来より低コストかつ短時間で解析・分析等できるソフトウェアを利用したクラウドサービス。

## (2) 財政状態に関する説明

<資産、負債及び純資産の状況>

### ①資産

流動資産は、現金及び預金の増加270百万円等の要因により、3,159百万円（前連結会計年度末比10.2%増）となりました。

固定資産は、投資有価証券の増加55百万円等の要因により、384百万円（同17.4%増）となりました。

この結果、総資産は、3,543百万円（同10.9%増）となりました。

### ②負債

流動負債は、買掛金の増加60百万円、前受金の増加162百万円、未払法人税等の増加93百万円等の要因により、1,678百万円（前連結会計年度末比26.6%増）となりました。

固定負債は、長期預り金の増加27百万円等の要因により、246百万円（同15.9%増）となりました。

この結果、負債合計は、1,925百万円（同25.1%増）となりました。

### ③純資産

純資産合計は、配当金の支払43百万円、四半期純損失の計上20百万円、為替換算調整勘定の増加18百万円、新株予約権の増加8百万円等の要因により、1,618百万円（前連結会計年度末比2.3%減）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年1月31日に公表した当初の業績予想から、現時点で修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,733,011	2,003,149
受取手形及び売掛金	841,917	859,889
商品及び製品	-	8,786
仕掛品	21,656	7,500
繰延税金資産	26,283	55,797
前渡金	130,810	151,737
その他	114,759	72,693
貸倒引当金	△513	△223
流動資産合計	2,867,924	3,159,330
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	72,020	64,902
その他（純額）	45,481	45,698
有形固定資産合計	117,501	110,601
無形固定資産		
のれん	10,253	7,986
その他	31,122	46,895
無形固定資産合計	41,376	54,881
投資その他の資産		
投資有価証券	-	55,690
差入保証金	165,940	162,258
その他	2,209	607
投資その他の資産合計	168,150	218,555
固定資産合計	327,028	384,039
資産合計	3,194,953	3,543,369



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	236,338	297,244
1年内返済予定の長期借入金	5,508	3,708
未払法人税等	1,699	<u>95,436</u>
前受金	883,015	1,045,173
賞与引当金	-	40,410
引当金	6,900	296
その他	192,763	196,511
流動負債合計	<u>1,326,225</u>	<u>1,678,780</u>
固定負債		
長期借入金	6,148	3,817
退職給付引当金	112,531	113,716
補助金返還に伴う加算金引当金	<u>12,079</u>	<u>19,447</u>
長期預り金	<u>81,856</u>	<u>109,475</u>
固定負債合計	<u>212,614</u>	<u>246,457</u>
負債合計	<u>1,538,839</u>	<u>1,925,237</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
資本剰余金	476,557	476,233
利益剰余金	<u>△64,837</u>	<u>△129,686</u>
自己株式	<u>△20,582</u>	<u>△19,333</u>
株主資本合計	<u>1,872,657</u>	<u>1,808,733</u>
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△220,802	△202,789
その他の包括利益累計額合計	<u>△220,802</u>	<u>△202,789</u>
新株予約権	2,502	10,936
少数株主持分	1,755	1,251
純資産合計	<u>1,656,113</u>	<u>1,618,132</u>
負債純資産合計	<u>3,194,953</u>	3,543,369

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,864,041	5,393,447
売上原価	2,934,982	3,288,615
売上総利益	1,929,058	2,104,831
販売費及び一般管理費	1,768,651	2,059,736
営業利益	160,407	45,094
営業外収益		
受取利息	1,474	1,520
為替差益	14,955	7,892
その他	1,473	2,791
営業外収益合計	17,903	12,204
営業外費用		
支払利息	349	197
リース解約損	2,340	-
補助金返還に伴う加算金引当金繰入額	5,780	7,368
その他	67	3
営業外費用合計	8,539	7,569
経常利益	169,771	49,729
特別利益		
新株予約権戻入益	39	-
関係会社株式売却益	4,160	-
特別利益合計	4,200	-
特別損失		
固定資産除却損	294	-
本社移転費用	104,457	-
特別損失合計	104,751	-
税金等調整前四半期純利益	69,219	49,729
法人税、住民税及び事業税	13,946	99,946
法人税等調整額	612	△28,806
法人税等合計	14,558	71,139
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	54,661	△21,409
少数株主損失(△)	△11	△503
四半期純利益又は四半期純損失(△)	54,672	△20,906

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	54,661	△21,409
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	68,079	18,012
その他の包括利益合計	68,079	18,012
四半期包括利益	122,740	△3,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,752	△2,893
少数株主に係る四半期包括利益	△11	△503

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステム 基盤事業	Webアプリケーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,502,182	<u>1,361,858</u>	<u>4,864,041</u>	—	<u>4,864,041</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,502,182	<u>1,361,858</u>	<u>4,864,041</u>	—	<u>4,864,041</u>
セグメント利益又は損失 (△)	193,917	<u>△33,509</u>	<u>160,407</u>	—	<u>160,407</u>

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者には有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
<u>4,578,986</u>	145,496	77,494	62,064	<u>4,864,041</u>

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステム 基盤事業	Webアプリケーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,646,827	<u>1,746,620</u>	<u>5,393,447</u>	—	<u>5,393,447</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	279	708	987	△987	—
計	3,647,106	<u>1,747,329</u>	<u>5,394,435</u>	△987	<u>5,393,447</u>
セグメント利益又は損失 (△)	△35,962	<u>81,057</u>	<u>45,094</u>	—	<u>45,094</u>

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者には有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
<u>5,076,784</u>	175,353	79,077	62,232	<u>5,393,447</u>

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年10月29日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

1. 理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行のため

2. 取得する株式の種類：普通株式
3. 取得する株式の数：240,000株(上限)
4. 株式取得価額の総額：100百万円(上限)
5. 自己株式取得の期間：平成26年10月30日から平成26年11月28日まで
6. 取得方法：東京証券取引所における市場買付

(訂正前)



## 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月29日

上場会社名 サイオテクノロジー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3744 URL <http://www.sios.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	5,411	10.0	55	△69.4	67	△65.6	△1	—
25年12月期第3四半期	4,921	11.4	179	134.5	194	164.3	79	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 15百万円(△89.5%) 25年12月期第3四半期 147百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	△0.22	—
25年12月期第3四半期	9.14	7.06

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	3,543	1,732	48.6
25年12月期	3,196	1,751	54.7

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 1,720百万円 25年12月期 1,747百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	8.7	100	△59.4	100	△62.3	30	△72.9	3.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	8,874,400株	25年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	80,500株	25年12月期	85,700株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	8,791,205株	25年12月期3Q	8,714,282株

(注) 当社は平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。



○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

＜当第3四半期連結累計期間の概況＞

当社グループが属するIT産業は、クラウドコンピューティング<sup>(※1)</sup>（以下、「クラウド」）やスマートフォン、タブレット端末の普及、また、通信技術の進化によるモバイルインターネット環境の高速化大容量化により、今までに存在しなかった革新的なビジネスが数多く生まれており、急速に変化しています。

このような状況のもと、当社グループは、当期を新たな成長戦略の起点の年と位置付け、「新規分野の拡大」「製品力強化のための研究開発」「競争力強化に向けた人材投資」に取り組んでいます。

当第3四半期連結累計期間における売上高は5,411百万円と前年同期比で10.0%増と二桁の増収となりました。利益面におきましては、引き続き、米子会社であるSIOS Technology Corp. 及びGlabio, Inc. における自社製品・サービス開発のための先行投資、並びに人員採用を積極的に進めたこと等により、販売費及び一般管理費は2,052百万円（前年同期比17.2%増）となり、営業利益は55百万円（同69.4%減）、経常利益は67百万円（同65.6%減）、四半期純損失は法人税等の計上により1百万円（前年同期は四半期純利益79百万円）となりました。また、当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）は102百万円（前年同期比56.2%減）となりました。

各セグメントの業績は、次の通りの結果となりました。

（オープンシステム基盤事業）

「Red Hat Enterprise Linux」<sup>(※2)</sup>は営業・マーケティングの強化により販売は堅調に推移しました。自社製品の「LifeKeeper」<sup>(※3)</sup>は前期に比べ大規模案件の減少等により横ばいとなりました。また、OSS<sup>(※4)</sup>のサポートサービスや、OSS関連商品の販売は概ね順調に推移しました。これらにより、売上高は3,646百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

一方、利益面では、前述のとおり新製品開発のための先行投資や、「Red Hat Enterprise Linux」の競争激化による利益率の低下、技術及び営業社員の積極採用等により、セグメント損失は35百万円（前年同期はセグメント利益193百万円）となりました。

（Webアプリケーション事業）

MFP向けソフトウェア製品<sup>(※5)</sup>の売上が大幅に伸長し、売上高は1,764百万円（前年同期比24.3%増）と増収となりました。また、Google Apps<sup>TM</sup>の機能拡張サービス「Gluegentシリーズ」<sup>(※6)</sup>をはじめとするクラウド分野の製品・サービスの売上は、堅調に推移しました。新たな事業分野であるビッグデータソリューション<sup>(※7)</sup>の売上は想定を上回りました。

一方、利益面では、新サービスのための研究開発や人員採用を積極的に行ったことで販売費及び一般管理費が増加しましたが、売上の伸長による売上総利益の増加がこれらを吸収し、セグメント利益は90百万円（前年同期はセグメント損失14百万円）と黒字化しました。

- (\*1) クラウドコンピューティング  
コンピュータ処理をインターネット経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。
- (\*2) Red Hat Enterprise Linux)  
オープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。
- (\*3) LifeKeeper  
米国子会社SIOS Technology Corp. の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。
- (\*4) OSS（オープンソースソフトウェアの略）  
ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
- (\*5) MFP向けソフトウェア製品  
プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multi Function Peripheralの略)という。MFPを効率的に利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」等の開発・販売・保守。
- (\*6) Gluegentシリーズ  
子会社グルージェントのサービス。社内のワークフローをクラウド化する「Gluegent Flow」をはじめ、Google Calenderにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Apps グループスケジューラー」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。
- (\*7) ビッグデータソリューション  
大規模データを従来より低コストかつ短時間で解析・分析等できるソフトウェアを利用したクラウドサービス。

## (2) 財政状態に関する説明

<資産、負債及び純資産の状況>

### ①資産

流動資産は、現金及び預金の増加270百万円等の要因により、3,159百万円（前連結会計年度末比10.1%増）となりました。

固定資産は、投資有価証券の増加55百万円等の要因により、384百万円（同17.4%増）となりました。

この結果、総資産は、3,543百万円（同10.8%増）となりました。

### ②負債

流動負債は、買掛金の増加60百万円、前受金の増加162百万円、未払法人税等の増加92百万円等の要因により、1,677百万円（前連結会計年度末比26.5%増）となりました。

固定負債は、133百万円（同12.4%増）となりました。

この結果、負債合計は、1,810百万円（同25.3%増）となりました。

### ③純資産

純資産合計は、配当金の支払43百万円、為替換算調整勘定の増加18百万円、新株予約権の増加8百万円等の要因により、1,732百万円（前連結会計年度末比1.1%減）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年1月31日に公表した当初の業績予想から、現時点で修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,733,011	2,003,149
受取手形及び売掛金	841,917	859,889
商品及び製品	-	8,786
仕掛品	23,556	7,500
繰延税金資産	26,283	55,797
前渡金	130,810	151,737
その他	114,759	72,693
貸倒引当金	△513	△223
流動資産合計	2,869,824	3,159,330
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	72,020	64,902
その他（純額）	45,481	45,698
有形固定資産合計	117,501	110,601
無形固定資産		
のれん	10,253	7,986
その他	31,122	46,895
無形固定資産合計	41,376	54,881
投資その他の資産		
投資有価証券	-	55,690
差入保証金	165,940	162,258
その他	2,209	607
投資その他の資産合計	168,150	218,555
固定資産合計	327,028	384,039
資産合計	3,196,852	3,543,369

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	236,338	297,244
1年内返済予定の長期借入金	5,508	3,708
未払法人税等	1,699	<u>93,782</u>
前受金	883,015	1,045,173
賞与引当金	-	40,410
引当金	6,900	296
その他	192,763	196,511
流動負債合計	<u>1,326,225</u>	<u>1,677,125</u>
固定負債		
長期借入金	6,148	3,817
退職給付引当金	112,531	113,716
その他	=	<u>15,814</u>
固定負債合計	<u>118,679</u>	<u>133,347</u>
負債合計	<u>1,444,904</u>	<u>1,810,473</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
資本剰余金	476,557	476,233
利益剰余金	<u>30,997</u>	<u>△14,922</u>
自己株式	△20,582	△19,333
株主資本合計	<u>1,968,492</u>	<u>1,923,497</u>
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△220,802	△202,789
その他の包括利益累計額合計	<u>△220,802</u>	<u>△202,789</u>
新株予約権	2,502	10,936
少数株主持分	1,755	1,251
純資産合計	<u>1,751,948</u>	<u>1,732,896</u>
負債純資産合計	<u>3,196,852</u>	3,543,369

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,921,717	5,411,741
売上原価	2,990,014	3,303,780
売上総利益	1,931,703	2,107,961
販売費及び一般管理費	1,752,099	2,052,960
営業利益	179,603	55,000
営業外収益		
受取利息	1,474	1,520
為替差益	14,955	7,892
その他	1,473	2,791
営業外収益合計	17,903	12,204
営業外費用		
支払利息	349	197
リース解約損	2,340	-
その他	67	3
営業外費用合計	2,758	200
経常利益	194,748	67,004
特別利益		
新株予約権戻入益	39	-
関係会社株式売却益	4,160	-
特別利益合計	4,200	-
特別損失		
固定資産除却損	294	-
本社移転費用	104,457	-
特別損失合計	104,751	-
税金等調整前四半期純利益	94,197	67,004
法人税、住民税及び事業税	13,946	98,291
法人税等調整額	612	△28,806
法人税等合計	14,558	69,485
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	79,638	△2,480
少数株主損失(△)	△11	△503
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,649	△1,976

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	79,638	△2,480
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	68,079	18,012
その他の包括利益合計	68,079	18,012
四半期包括利益	147,718	15,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,729	16,035
少数株主に係る四半期包括利益	△11	△503



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステム 基盤事業	Webアプリケーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,502,182	<u>1,419,535</u>	<u>4,921,717</u>	—	<u>4,921,717</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,502,182	<u>1,419,535</u>	<u>4,921,717</u>	—	<u>4,921,717</u>
セグメント利益又は損失 (△)	193,917	<u>△14,313</u>	<u>179,603</u>	—	<u>179,603</u>

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者には有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
<u>4,636,662</u>	145,496	77,494	62,064	<u>4,921,717</u>

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステム 基盤事業	Webアプリケーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,646,827	<u>1,764,914</u>	<u>5,411,741</u>	—	<u>5,411,741</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	279	708	987	△987	—
計	3,647,106	<u>1,765,623</u>	<u>5,412,729</u>	△987	<u>5,411,741</u>
セグメント利益又は損失 (△)	△35,962	<u>90,963</u>	<u>55,000</u>	—	<u>55,000</u>

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者には有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
<u>5,095,078</u>	175,353	79,077	62,232	<u>5,411,741</u>

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年10月29日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

1. 理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行のため

2. 取得する株式の種類：普通株式
3. 取得する株式の数：240,000株(上限)
4. 株式取得価額の総額：100百万円(上限)
5. 自己株式取得の期間：平成26年10月30日から平成26年11月28日まで
6. 取得方法：東京証券取引所における市場買付